

自然との素直な対話を通して、四季折々の美しい日本の風景を描き続けた日本画家・小野竹喬 (1889-1979)。志摩市大王町波切の美しい自然に魅了され、《波切村》に取り組んだ三重県ゆかりの画家でもあります。

岡山県笠岡市に生まれた竹喬は14歳で故郷を離れ、京都で竹内栖鳳に師事しました。西洋の美術や芸術思潮に関心をよせ、洋画家や学者、評論家と広く交流し、新しい芸術創造を目指す先鋭的な運動にも参加しています。1918 (大正7)年には、新進気鋭の日本画家たちで国画創作協会を創設し、日本画革新に挑みます。同会解散後は京都画壇の中心的画家として官展を舞台に活躍。豊かな色彩で詩情あふれる日本の自然を描き、独自の画境に到達しました。

今回の展覧会は、竹喬の業績をたたえ、その功績を後世に伝えるために設立された笠岡市立竹喬美術館の全面的な協力を得て開催するものです。同館が所蔵する初期から晩年までの代表作や素描により竹喬の画業をたどり、竹喬芸術の魅力に迫ります。



波切村 1918 (大正7年)

笠岡市立竹喬美術館名品展

# 小野竹喬

会期中のイベント ・手話通訳、要約筆記、その他支援の必要な方は2週間前までにご相談ください。

○記念講演会  
「竹喬絵画の魅力-近現代日本画の中で-」

講師：上岡四郎 (笠岡市立竹喬美術館前館長)  
日時：4月23日 (日) 午後2時- ※90分程度  
会場：三重県立美術館講堂  
定員：70名  
参加無料/先着順 (直接講堂にお越しください)  
※開場・受付は午後1時20分開始

○笠岡市立竹喬美術館学芸員によるギャラリートーク

日時：5月14日 (日) 午後2時- ※60分程度  
会場：企画展示室  
定員：40名  
先着順 (午後1時30分より企画展示室入口横にて整理券を配布します) ※観覧券が必要です

○担当学芸員によるスライドレクチャー

日時：5月27日 (土) 午後2時- ※60分程度  
会場：三重県立美術館講堂  
定員：70名  
参加無料/先着順 (直接講堂にお越しください)  
※開場・受付は午後1時20分開始



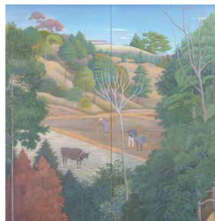
湖 1971 (昭和46年)



夕晩 1960 (昭和35年)



新緑 1948 (昭和23年)



春緑 1924 (大正13年)

観覧料=一般 1,000 (800)円 学生 800 (600)円 高校生以下無料

・( )内は前売および20名以上の団体割引料金 ・この料金は、「美術館のコレクション」、柳原義述記念館もご覧いただけます。 ・生徒・学生の方は生徒手帳、学生証等をご提示ください。 ・障害者手帳等(アブハ含む)をお持ちの方および付き添いの方1名は観覧無料。 ・教育活動の一環として県内学校(小・中・高・特別支援)および相当施設が来館する場合、引率者も観覧無料(要申請)。 ・5月21日(日)の家庭の日には団体割引料金でご覧いただけます。 ・主な前売券販売所チケットぴあ、ファミリーマート、セブン-イレブン他

## 三重県立美術館

MIE PREFECTURAL ART MUSEUM

〒514-0007 三重県津市大谷町11  
TEL=059-227-2100 FAX=059-223-0570  
https://www.bunka.pref.mie.jp/art-museum/  
Follow us on Twitter @mie\_kenbi



次回企画展 ◀──▶  
日根野作三展 2023年7月1日(土)~9月24日(日)

交通案内

津駅(近鉄・JR)西口より徒歩約10分。または、津駅西口1番のりばより三重交通バス「西団地循環」(津西ハイタケ行き(七つ森つづり線由))、「夢が丘団地行き(総合文化センター前経由)」(総合文化センター行き)のいずれかに乗車約2分、「美術館駅」下車徒歩約1分。駐車場も用意していますが、できる限り公共交通機関をご利用ください。

